

2015年4月号
Vol. 24

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail info@cbs.or.jp

HPからも
アクセス
できます!!
facebook
(公財)千葉県文化振興財団 公式ページ
http://www.cbs.or.jp/



千葉県少年少女オーケストラ

～20周年を迎えて～

音楽監督 佐治 薫子

オーケストラ誕生の年は1996年。団員募集は4月10日から5月20日、新聞各紙が取り上げてくれたため、県内各地から416名もの応募があり、オーディションは6月8日と9日の2日間で行われました。その大勢の応募者の中から160名が選ばれ、6月23日には、故 沼田武元千葉県知事をはじめ、保護者、関係者の方々の出席のもと結団式が行われました。南は鴨川、北は野田方面から団員が集まり、心を一つにして、熱心なオーケストラ活動がはじまったのです。



【結団式】故 沼田武元千葉県知事の挨拶 (1996.6.23 千葉県文化会館小ホール)

記念すべき第1回の定期演奏会では、音に厳しい石丸寛氏の指揮によりベートーベンの交響曲第5番「運命」を演奏しました。



故 石丸寛氏
(1997.3.23 千葉県文化会館大ホール)

5周年記念特別演奏会では、故 宮川泰氏が団員たちに音楽の楽しさを教えてくださいました。



故 宮川泰氏と佐治音楽監督
(2000.9.24 千葉県文化会館大ホール)

第5回定期演奏会では、アルミンク氏に本場ウィーンのワルツやポルカの楽しさを体感させていただきました。



クリスティアン・アルミンク氏
(2001.3.25 千葉県文化会館大ホール)

第10回定期演奏会は、指揮は現田茂夫氏、合唱は現田氏が総監督を務める「神奈川フィル合唱団」により、ベートーベンの大曲「第九」に挑戦しました。



現田茂夫氏
(2006.3.26 千葉県文化会館大ホール)

第15回定期演奏会は、東日本大震災直後のことだったので、一時は中止との話になって大変でしたが、各方面のご協力により実現できたことは、本当に嬉しいことでした。そして曲もヴェルディの「レクイエム」だったことも震災後の演奏曲としてふさわしかったと思います。

合唱団の東京オペラシンガーズの歌声は素晴らしく団員たちも涙しながら演奏していましたし、会場一杯のお客さまも涙しながら聴いたとアンケートにありました。

この素晴らしい東京オペラシンガーズともう一度ベートーベンの「第九」をやりたいとこの時強く思い、すぐに5年先の20周年の合唱はオペラシンガーズにお願いしました。



佐渡裕氏
(2011.4.2 千葉県文化会館大ホール)

いよいよ今年は20周年という節目の年となり、10年ぶりの「第九」に挑戦します。指揮には、国内外で活躍している下野竜也氏、ソリストに佐々木典子さん・寺谷千枝子さん・吉田浩之さん・福島明也さんという素晴らしい方々をお迎えし、団員たちと一緒に、よい演奏ができるよう練習に励んでいきたいと思っております。

千葉県文化会館は、1959年から70年にかけて起こった建築運動、メタボリズム（新陳代謝）の傑作として、海外から視察に訪れる方もいるほど歴史的に見ても価値の高い建築物です。

最大の特徴は、大ホールの響きの良さです。大ホールでは、これまでに国内外の一流演奏家・オーケストラによるコンサートや、吹奏楽・合唱等のコンクールなどで演奏をしている多くの方々から「大変、演奏しやすいホール」という感想をいただいています。また、コンサートを聴きにいらっしゃったお客さまからも「響きがとても心地よい」とお褒めの言葉をいただいています。

世界のクラシック音楽界で、最も高い評価を受けているピアニストの一人であるマルタ・アルゲリッチさんがホールの響きとピアノ（スタインウェイ）をととても気に入り、ひとり夜遅くまで練習されていた光景は印象に残っています。

ホールの響きの良さだけでなく、劇場を支えるスタッフのホスピタリティが専門家から評価され、千葉県東総文化会館とともに、「優良ホール100選」にも選出されています。



これからも「舞台芸術によるバリアフリー」を目指し、だれもが気軽に会館へ足を運んでいただけるような環境づくりに努めてまいります。

素敵な音楽をお届けします。～アウトリーチコンサート～

千葉県東総文化会館

日々さまざまなイベントを開催している千葉県東総文化会館には、たくさんの方が訪れ、文化芸術を楽しまれています。しかしながら中には、会館に来ることが困難な方もいらっしやいます。そんなの方々にも文化芸術を楽しんでいただけるように、千葉県東総文化会館では、これまでに東総地域の病院や特別養護施設、また東日本大震災で被災した学校などを中心にアウトリーチコンサートを開催してきました。



音とともに言葉を伝える声楽や、郷愁を誘う中国の伝統的な弦楽器である二胡など、“心から癒されるプログラム”をお届けしています。

今年は、特別支援学校で開催する予定です。これからも、たくさんの方に、文化芸術のすばらしさをお届けしていきます。

※千葉県文化振興財団設立 30 周年※

千葉県文化振興財団は、千葉県の文化振興の実行・実践部門として昭和61年に設立され、県立文化会館の管理・運営を中心にさまざまな事業を実施してまいりましたが、おかげさまで今年、30周年を迎えることができました。これも文化を愛する皆様の支えがあったからこそ心から感謝いたします。これからも県民の皆様とともに、40年・50年と千葉県における文化芸術の振興を果たしていきたいと思っておりますので、温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



編集後記

財団が運営しています「県民合唱団」は、3月に登録者数が1,000名を超え、国内最大規模の合唱団として成長し続けています。

平成27年度もその県民合唱団による定期演奏会をはじめ、盛りだくさんの事業を県民の皆様にお届けいたしますので、どうぞご期待ください